



広報

ごじょうめ

- 新春座談会 2～7
- 今年は私たちの年です… 8～10
- 皆さん除雪にご協力を 11
- ふれあい広場 12
- カメラレポート 13
- スポーツコーナー 14
- お知らせコーナー 15
- 野草のたのしみ 16

薬師山山頂より本町を望む

謹賀新年

年頭にあたって

五城目町長

加賀谷 力司

No. **579**

昭和**63**年（1988年）

1月**1**日

（毎月1日・15日発行）

発行／五城目町

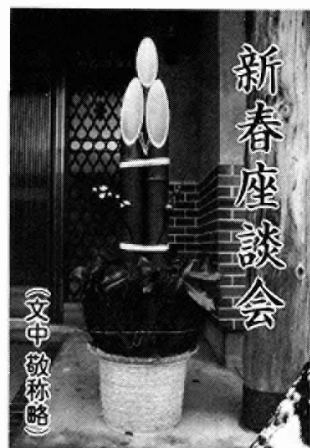
編集／文書広報課 ☎ 0188 (52) 2100代

印刷／五城目印刷 ☎ 0188 (52) 3531代

新年おめでとうございませう。
輝かしい昭和六十三年の元旦を迎え、過ぎし年の皆様の大きなご健闘、ご活躍に敬意を表し、新しい年の幸多きことを心から祈念申し上げます。
過ぐる六十三年は、おかげをもちまして、懸案でありました尿処理施設（クリンセンター）が完成し、中央線シンボルロードの一環として架橋されておりました馬場橋は、恵まれた自然景観とも調和したシンボル橋として生まれ変わっております。
また、本町の特徴を生かした公営住宅の計画的な建設、入通線改良工事と並行して実施してまいりました延長九十八メートルの恋地大橋の竣工など、町民生活と直結した住みよい環境づくりに果た役割が極めて大きい事業の完成を見ることができました。
皆様のご協力に心から感謝申し上げる次第であります。
二十一世紀を展望した田園都市形成が着実に進展している中で、新しい年を迎えた今、心を新たに、とりまく情勢の本質を見極め、進取の活力をもって、地場産業の振興、福祉の充実を図るいきがいセンターの建設、国道二八五号線への愛称設定、また、千代田区との都市交流事業を推進し、尚一層の活性化に努めるほか、馬場目逢内台地区の公共施設整備等の課題にも取り組んでまいりたいと思っております。
さらに、今後は、本町において第百一十回秋田県種苗交換会が開催されますので、皆様とともに一丸となって努力し、成功をおさめたいと存じます。
新年元旦、皆様のご活躍と、本町の躍進を願って新年のごあいさついたします。

（おあげします）

五城目の イベント仕掛人



絵と詩になる町

いきいき町おこしを語る

司会……皆さん、あけましておめでとうございます。

座談会のテーマは「五城目のイベント仕掛人―絵と詩になる町、いきいき町おこしを語る」ということで、町内で行われている様々なイベントを企画立案し、積極的に活動されている皆さんにお集まりいただきました。

皆さんのこれまでの苦労話やイベントを通じて「町おこし」にどのように取り組んでゆくか、また、今年は本町で種苗交換会が開催されますが、一大イベントとして「町おこし」にどう活かすかなどについて語っていただきたいと思っています。

初めに町長からごあいさつをお願いします。

町長……あけましておめでとうございます。新年早々この外忙しい皆さんからお集まりいただきましてありがとうございます。お集まりいただいた皆さんは、日頃、町の中核になって「これではいかん」ということで活気のある町にしようと頑張っ

ておられる方ばかりで、お顔を拝見しただけでも活気が出てきそうな感じがします。

皆さんは、自分の仕事ばかりでなく、郷土のために大変頑張っておられるわけですが、日頃、いろいろ感じておられることなどお話しいただきたいと思っています。

先程、司会者から話された通り、今年本町で種苗交換会が開かれますが、昭和四十五年、本町で開催された時も、私町長として参画しました。今年は第百十一回の交換会ということになり、これで二回担当することになります。

また、千代田区との都市交流も今年中に正式に締結されることになっております。都市交流は、ただ提携しただけでは何も意味がありません。それを契機に、文化水準を高めるために、あるいは経済的な好影響を何らかの点で町民に与えるためにはどういうことをやったらいいのか、また、

どういうことを町民の皆さんからやっていただけるのか、と思いをめぐらしてみますと、大変忙しい年のように感じら

れます。

皆さんは、去年のことを振り返って、今年もまたさらによりよいものをとというご決意を固めておられることと思います。町民に問題提起するという気持ちでざっくばらんに話し合い、町民からのご注意やご意見も聴かせていただき出来れば町民総参加の活性化対策を作る、よすがになればと思いますのでよろしくお願ひします。

司会……自己紹介を兼ねながら、イベントの内容、特徴など、また、イベントが生まれた経緯、町おこしとの結びつきについてお聞かせください。

長谷川……私は、現在、商工会の青年部長を務めております。「馬場目川の川下り」と「市神祭イベントお山かけ」の二つのイベントについて感じたことを話したいと思っています。

商工会青年部長も三年目ということで、いろいろなイベントに係わりを持ちましたし、また、県単位のイベントにも



近野 格也

自営業
四十四歳・雀館
(市場組合役員)



錦織 徳夫

新聞記者
五十二歳・古川町
(中央線シンボルロード
推進部会イベント部部長)



加賀谷 力司

五城目町長

相当数参加しましたが、その中で特に中心になって行ったのが「馬場目川下り」です。昨年で六回を数えましたが、三回目までは八郎潟町商工会が単独で行いましたが、五城目町から出発したいという呼び掛けがあり両町の共催で行われることになりました。八郎潟町と本町の将来に渡るソフト面での統合を目的に協力態勢をとろうと、第四回から交互に分担しながら実施しています。共催してからイカダの数も増え、特に盆の最中に帰省客が増える時期であり、帰省客から大変楽しかったという声を聞きました。商業に携わる私たちにとっては、大変忙しくつらい時期ですが、見る人のことを考えてお盆に実施しております。

川下りは、割合単純なイベントですが、私たちは、イベントというのは盛り上がりを楽しみが重要な核と考えています。ただ、将来にわたりそれだけではおもしろくありません。イベント自体が一過性に終わってしまわないようにしなければなりません。湖東部、南秋といった地域全体のイベントをやらうとする意識の高い人達のつながりを持ち、長期的活性化と定住人口の増加への良い影響を与えるための一つのインパクトにすべきだと考えております。ただ楽しければいいとか、その時だけ人が集まることを画策して次の日からガランとした町に

なっている、ただの刹那的な行事になってしまふ、それだけは避けようと思っています。イベントが行政、商工関係、地域の経済に結びついていかないとどこかむなし行動に終わってしまうのではないのでしょうか。

「市神祭イベント」は、お山かけという宗教的、歴史的なものを中心として実施しました。また、マスコミに取り上げてもらうため、アピール力のある「お山かけ」を一つの柱としてイベントを行ったわけですね。沢山あるメニューを商工会青年部と下町商店会の若手の人が協力、分担し、天候にも恵まれ大成功を収めました。この市神祭を契機に町全体の活性化につながって行けばなあと模索しているところです。

近野……私は、朝市の代表ということで出席させていただきました。町内の出店者約百五十人で市場組合というものを作っていますが、時々出店する方が五十人ほどおりますし、町外からも約五十人來ますので、実際に店を出している方は二百五十人ぐらいになると思います。

最近、町外からのお客さんが増えていますが秋田市方面からの観光客が特に目立ってきました。また、マスコミの紹介で毎年秋になると、東京、川崎などからも訪ねてきてくださり、朝市に自信を持ってきたり

ところですね。本町のお客さんはもちろんですが、町外のお客さんに対し、言葉が悪い、駆け引きが強い、品物に落ち度があるなどのことが無いように特に気を付けようと組合で話し合っています。

私は、山菜と秋のキノコなどを販売しておりますが、店を出している農家の人たちは自分が売れるもの以外のものを買って家に帰ります。いろいろな人と売り買いしながら話しをするによってコミュニケーションがはかられています。市場組合の役員として、この伝統を守り、後継者に引き継いでいかなければならない使命があると考えております。

錦織……私は、矢場崎から昭和町まで続いている中央線シンボルロードの推進部会イベント部長を仰せ付かっていました。この中央線を活かしながら、県内外から観光客を集める町の活性化に結びつけようとの部会が生まれたもので、五城目町の観光の目玉にしたいと考えております。

馬城橋は、昨年十月末に完成の予定でしたが、少し遅れまして十一月中旬に開通しました。当初は十一月文化の日を中心にして馬城橋完成記念フェスティバルを計画していましたが、完成の遅れで出来なくなりました。そこで、今年の四月に式典を中心にしたイベントを展開し、成功さ

せようと今話し合っています。私たちは、先日、シンボルロードイベントの掘り起こしをしようとして、沿線の住民にアンケート調査を行いました。アンケートの結果いろいろな計画が出されましたが、記念フェスティバルの時だけでなく、将来にわたって継続するものをと考えています。

また、この中央線には、ふれあい、イベント、やすらぎの各ゾーンを設けており、ゾーンを利用しながらイベントを盛り上げたいと思います。これから具体的に計画、実施するわけですが、各種団体に協力をお願いし、シンボルロードを町内外にアピールしたいと考えています。

小玉……私は、五城目町に四つある番楽の中の西野番楽を継承しています。

今から十七、八年前私たちが青年会員になったころ、さて、どういう事業をやるうかなあと考え、自分の村にある文化活動をやらう、また、幼い頃よく父に連れられて見に行った番楽を掘り起こして見ようと考えたのが番楽を始めた発端です。

最初は、一つか二つの演目しかできませんでしたが、その後、秋田市の八橋グラウンドで演じたり、方々のイベントなどに参加したりするようになり、子どもたちも参加して演ずるようになり、みんな人前へ出る

出席者（敬称略）



伊藤 卓治
五城目町助役
(司会)



小玉 静夫
会社員
三十歳・西野
(五城目町連合青年会会長)



長谷川 定夫
商業
三十八歳・仲町
(商工会青年部長)



小玉 賢一
農協職員
四十三歳・西野
(西野番楽保存会)

度胸がついてきたような気がします。

県の観光物産展のイベントにもとり入れてもらったり、名古屋などにも出かけ町の産業紹介の折にも音楽を披露したりして好評を得ています。

昭和五十七年にタイ国のラタナコーシン王朝二百年祭の慶祝日本民族芸能披露使節団に加えていただいて本町の音楽を披露することができた喜びは今だに忘れられません。

現在地元では、八幡神社の祭りの中で奉納音楽を行い、夜のカラオケ大会にも取り入れてもらっています。二、三年前から古老がいなければだめだということで、私たちに教えてくれた師匠をリーダーに迎え、若い人と違ったやり方で指導していただいています。

町内の四つの音楽にはそれぞれ特徴がありますが、一つにまとめることによって永く引き継いでいくことができるのではないかと思います。

小玉：私は、五城目町連合青年会の会長をしています。昨年は、全町盆踊り大会実行委員会の委員長を務めさせていただきました。

盆踊りは、全町民を対象にだれでも気軽に参加でき、町民相互の親睦と融和を深めることを大きな目標にしています。それと併せて、原点に帰って祖先の霊を迎えることを念頭に置きながら毎年頑張

っています。

この行事は、連合青年会が発足した昭和三十一年の翌年から行われています。当初は下町通りで開催され、四十七年頃には参加者が約四千五百人にも達し、会場が手狭になったため、その後山手線、雀館線そして現在の中央線に会場を移してきました。

先輩達も私たちと同じ考えだと思いますが、若者が地域に広く自分達の存在をアピールできるものとして、盆踊りは重要な役割を果たしていると思います。これは、地域の人たちが心待ちにしている行事でもあるからです。

しかし、年々会員数が減ってゆくなかで、自分たちだけの手で実施してゆくことが困難になってきています。もう一度、青年たちが一致団結して青年の手で動かしていかなければならないと思っています。

最近、どの町を見ても活気がないということを痛切に感じています。その中で盆踊りというものが、イベントとしてどの程度のインパクトがあるかはっきりと判かりませんが、五城目町の一町民として他のイベントの方々と協力し合うことがこれからの町おこしにつながってゆくのではないかと思います。

町長……イベントというものは、当事者と当事者外の人がある訳です。私も若い時にい

ろいろとやりました。お祭りの時の踊山車は、私達が港（土崎）の若衆の応援を得て再興したものです。実際に手掛けてみると当事者でしか判らないおもしろさや意義のあることを感じます。イベントというものは、外に向って何を期待するか、見ている人達がどう感ずるかということもさることながら、自分たち楽しくなければならぬと思います。そしてその楽しさなり意義なりをどうやったら外野席におる方々に理解してもらえるか、理解し協力してもらうにはどうしたらよいか。アホらしいことをやって、アホになることが、いかに幅のある人間を形成する上に大切なことであるかを知っていたかどうかだと思っています。

今、皆さんのお話を聞いていますと、全員当事者としてイベントを行っている意義を感じ、さらに意欲を燃やしている様です。当事者をいかに増やすかということが今後の重要なポイントがあるように思います。先程、五連青の小玉さんから、会員不足のため自分たちだけの手で盆踊りを行うことができないというお話がありました。お祭り、イベントというものは参加してはじめてその楽しさがわかるものです。参加者当事者を増やす手立てを模索する必要がありますように思います。

司会……次にイベントを進める上での喜びや悩み、町民の反応について、また、今年は何苗交換会が本町で開催されますが、一大イベントとして「町おこし」にどう活かすかについてお聞かせください。

長谷川……イベントは、終わってしまったら楽しいものだと思います。ただ、準備段階での資金集め、人集め、そしていかにして輪をつくるかが一番の悩みです。それとは裏腹にだんだん進めていくと、必ず数人のほんとうに一生懸命取り組んでくれる人が出てきます。そして、イベントが終わった時に、「こんなにも自分を犠牲にしてイベントをやってくれた」という人を何人か発見できることが大きな喜びです。

町民の反応ですが、一部の人が理解してくれて、仲間に入ってくれることは大変うれしいことです。反面、批判される方もいますが、一旦理解し一緒に行動すると、よりいっそうイベントを盛り上げてくれる方々と私は考えます。今年、本町で種苗交換会が行われますが、現在、いろいろなグループの中で交換会のやり方に関する話題が出てきています。商工会青年部をはじめ各種団体がその気運を盛り上げています。商工会青年部をいかに大きなパワーを出すかということで商工会青年部としても役割を果たしたいと思っています。た

だ、これからのつながりとかやりたいのにやれないというのをいかに防いでいくかということが一つのキーポイントです。町と商工会が中心となり、こういう点を加味しながら進めてほしいと思います。

近野……朝市の喜びは、自分の出した商品がお客さんに認めてもらって売れるということとです。また、その場になくても「五城目でしか手に入らないので、次の市日まで用意しておいてください」という注文を県内外の方から受ける時は最高の喜びです。

悩みは、駐車場の問題です。町外から観光バスなどで来られる方もいますが、近くには駐車場がありません。中には朝市を見たくても駐車場がないため、五城目を素通りしてある団体が数多くあるとも聞かれています。ぜひとも駐車場がほしいものだと思っています。

次に町民の反応ということですが、最近スーパーマーケットが進出してきていますが、スーパーにない良さを感じてくれていると思います。土のついた野菜や買う時の駆け引きを楽しんでいる方もいます。また、本町や近隣町村の山の好きなお客さんは、朝市に並ぶ品々を参考に、山菜採りやキノコ狩りに出かけているようです。

ある町」ということで売り出してあります。交換会の期間中は、初めて五城目に来られる方もいると思いますので、朝市を毎日開催し、五城目町を宣伝したいと考えています。

錦織……イベントに対する町民の反応ですが、私たちが沿線の住民にアンケート調査した結果、積極的に協力すると答えた人が三十パーセント、周りが協力すればという人が二十七・六パーセント、内容をみながらという人が三十五パーセントと、ほとんどの人が協力できるという考えのようです。非常に頼もしく思っています。また、沿線住民だけでなく、全町民挙げて参加してくれることが私たちの願いです。

種苗交換会ですが、どうか中央線を歩いていただいて、店を見たり、朝市を見学しながら、会場移動の中心地として利用してもらいたいと考えます。

小玉……音楽をやっていること、そのものが喜びのような感じがします。悩みについては、町の四つの音楽すべてに共通していることですが、やはり後継者育成が一番の悩みです。特に大川地区は子どもの数が少ないせい、クラブ活動も重なって、十分な練習時間がありません。先輩達もだんだんと年をとってきま

新春座談会



▲役場総務常任委員会室で開かれた新春座談会

し後継者を確保しなければならぬと考えています。

次に町民の反応としては、番楽競演会の時など喜んで見ていただいています。ただ、神明社で行っている関係で、参拝者が見ている程度です。で、多くの町民が鑑賞できる場所で演じられたらと思っています。

種苗交換会に関しては、いろいろなイベントとつながりを持たせ、「見て歩き交換会」という様な楽しいものにし、五城目町を宣伝できるよう配慮しなければならぬと思います。

小玉 静……毎年全町盆踊りを行っています。常に悩むのが日程のことです。例年は八月下旬に行っていますが、昨年は盆の帰省客の多い日になりました。ところが雨のため順延となり残念ながら例年より参加者も少ない状態でした。今年も頑張るつもりですので、より盛大なものにするために関係者の方々と話し合っ行ってきたいと思っています。

また、種苗交換会を成功させるために、町民の一員として最大限の協力をしたいと思っています。交換会と平行したイベントを各種団体と連携をとりながら実施するために、これからじっくりと考えていたいと思います。

町長……皆さんは、町がこれ

から進めてゆく事業等に関し、たいへんよいヒントを与えてくださいました。ほんとうに有難く思っております。

先程、私は当事者と言いましたが、狭い意味の当事者と広い意味の当事者、二通りあると思います。

昨年、私は神田祭りに招待され、みこしをかついできましたが、祭りに参加し痛切に感じたことは、町内挙げて参加しているということでした。中心になっているのは若い人達ですが、年配の男性は、みこしが安全に、事故のないようにと先導したりしている。

また、年配の女性は、みこしの行列にともないながら疲れている人に水やジュースを用意したり、昼には弁当を出しています。子ども、みこしの先導を務めて歩いています。つまり、一家挙げて、町内挙げて祭りに参加している訳です。

こういうことを眺めますと、例えば盆踊りの場合踊る人だけが当事者ということではなく、踊り手を出すために、その家族が手伝いをし協力している、つまり皆さんが、広い意味での当事者ということになります。このような意識を町民全員が持ってもらってはと思っています。

農家の人、工場に働く人、物を売る商店の人、挙げて参加する雰囲気の中から、「やっぱり米は五城目米だ」「今度買う時は、一緒に踊った人



いかにして後継者を育成するか
～小玉賢一さん



伝統ある朝市を絶やさないよう
頑張りたい ～近野格也さん



通年行事として定着した
イベントを ～錦織徳夫さん

長谷川……昨年、市神祭りと川下りの二つのイベントを行いました。今考えてみますとマスコミが乗ってこないようなイベントでは将来性がないのであると思っています。どうせやるならマスコミに取り上げられ、全体的に有名になるようなイベントにしたいというの、自分を含め皆さんが持っている希望だと思います。今、若者がどんどん流出しています。次代の五城目町を考えた場合に、ここに住んで

司会……次に、町に対する要望、提案をお聞かせください。また、今年の目標、抱負がありましたらお願いします。

近野……朝市からの要望として、やはり一番ほしいのは駐車場です。また、お客さんは長い時間買い物をしていきますので、朝市に合ったきれいなトイレがほしいものです。抱負としては、四百九十年にもおよぶ歴史ある朝市を絶やしてはならないので、ますます喜ばれるような状況にしたいと思っています。そのためには、自信のある商品を提供していきたいと思っています。

これと関連して種苗交換会のことですが、皆さんで交換会を迎えようとする意識を持ってもらうためのコミュニケーションを培うのがイベントの果たす一つの役割りだと思います。イベントを行いなから町自体の知識を豊富に持ち、広い意味での当事者として、町外からのお客さんに町について説明してあげられることが必要だと思います。町民でぞって当事者となり、町のよい所を紹介し、もう一度来たくなるような印象を与えるためのコミュニケーションづくりを培っているのが、皆さんのイベントでないかと考えます。

今年、イベントがほんとうに町おこしに結びつくのか、ということのを会の一命題にして、その方向へ一歩二歩進んでいきたいと思っています。このようなことに対し、町あるいは上部団体からの理解をいただきたいと思っています。

抱負としては、四百九十年にもおよぶ歴史ある朝市を絶やしてはならないので、ますます喜ばれるような状況にしたいと思っています。そのためには、自信のある商品を提供していきたいと思っています。

近野……朝市からの要望としては、やはり一番ほしいのは駐車場です。また、お客さんは長い時間買い物をしていきますので、朝市に合ったきれいなトイレがほしいものです。抱負としては、四百九十年にもおよぶ歴史ある朝市を絶やしてはならないので、ますます喜ばれるような状況にしたいと思っています。そのためには、自信のある商品を提供していきたいと思っています。

今年、イベントがほんとうに町おこしに結びつくのか、ということのを会の一命題にして、その方向へ一歩二歩進んでいきたいと思っています。このようなことに対し、町あるいは上部団体からの理解をいただきたいと思っています。



若者が住みたくなるような
町づくりを～小玉静夫さん

小玉……以前、大行列などは、かなりおごそかな雰囲気を持っていたと思いますが、今では形式にとらわれている感じがします。せっかくのす

また抱負としては、通年行事として永く続けられるように考え、定着するようなイベントにしたいと思っています。

願います。また、各種団体の方々からも協力いただかないと成功につながりませんので、よろしく願いたいと思います。

小玉……年度始めに会員の勧誘に歩いています。町外に勤めている若者がほとんど

目標、抱負としては、先輩達の技を後世に伝えるため、ビデオ等に収録したいと考えています。

ばらしい祭りですので、全町を回るようにし、人的な問題があれば町当局からでも職場に要請して参画させ、盛り上げてほしいと思います。また、番楽の武者姿も連ねられたらと思っています。



マスコミが飛びつくような
イベントを ～長谷川定夫さん

新春座談会



▲ 座談会を終え記念撮影

で、意欲はあっても時間的余裕がなく入会してもらえないのが現状です。イベントを行以前の問題として、若者が住みたくなる町、住める町をつくらなければと思います。その手段としては、やはり企業誘致を考える必要があると思います。

目標としては、昨年の反省に立って自分自身がやってよかったと思える全町盆踊りになるよう、皆さんで盛り上げていきたいと思っています。

司会……最後に、町長からこの座談会のまとめということをお願いします。

町長……テーマに「絵と詩になる町」とありますが、絵は人が書いて絵になり、詩も人がつくって詩になる訳ですから、どちらも人がつくる創作文化といえます。ただ絵は、見たままを描く具象的な絵から、心象的な面をも絵にする時代です。絵も詩もそこに風物がありさえすれば、すぐ絵になり詩になるものではないと思います。風物を見て美しいと感ずる心、言語にせざるを得ない情感、そういうものが生じて始めて、絵が生まれ、詩が生まれるものではないでしょうか。五城目町は、先祖から引き継がれた豊かな自然に、ある意味ですぐれた建物、橋を加えて参りました。風物を創って参りました。

その風物を見て美しいと感じさせる心を、言語に表わさざるを得ない感動を呼び起こすのが、イベントを企画しておるあなた達です。言うなれば、あなた達こそ絵と詩を創る人々の仕掛人です。

五城目町民全員から「絵と詩になる町」の仕掛人になってもらいましょうよ。

昨年十二月に開催された観光開発講演会の中で地域産業経済研究所長の山崎先生が「仕事があってUターンするのはたいした者でない、仕事はないが帰って来て、これから食べるために何をすればよいかを考える人間が、一人でも二人でもほしいものだ」と話しておられました。正にその通りで、仕事も金もない、だから何とかしなければならぬという気概がほしい。現に仕事もあり、食べていける我々は、更に一段上の目標を設定して努力しなければならぬが、希望がない者にも五城目に行ったら、住んだら希望が出て来そう、いきいきとした誇れる町、五城目町を誇りに感ずるような活力あふれる町づくりを目指して頑張りたいと思います。

今日は皆さんから、たいへん良いご提案をいただきました。私も皆さんと共に、今日出された要望が達成させられるよう努力して、良い六十年であったと喜べるよう頑張りたいと思います。よろしくご協力の程お願い申し上げます。

あけましておめでとうございます

今年是我们大家的年



ぼくの心

館岡教伯 (五城目小学校)

今年ぼくは、中学生になります。そしてぼくの年でもあります。同級生の大半は、うさぎ年で大きくジャンプしていったと思います。

卒業を目の前にしてとてもさみしい気持ちと、期待と、不安の入り交じった今日のごころです……。

小学校生活をふり返ってみて思う事は、転校して行った友達、お世話になった先生方の転任、退任の別れのつらい事でした。それが、今度はぼく達が今までお世話になった先生方や、小学校とも別れる事になるのです。出来ればこのまま先生と一緒に中学校に行けたらいいのと思う事があります。

六年間、みんなで力を合わせてやった運動会、学芸発表会、写生会、自然観察教室、それに修学旅行など楽しい思い出がいっぱいでした。

中学校はどんなところか分かりません。ただ、高校に入るための勉強をするのだという事だけです。でも、小学校でのさまざまな思い出を心に置き、中学生になっても、今までお世話になった先生方や転校して行った友達の事は一生忘れないでいたいと思います。それに、今まで友達だった人と別々のクラスになって



館岡くんは、今年 中学生に

も友達のままでいて、他の学校から来た人達とも仲良しになりたいと思います。そしてみんなが困っている時は助け合って、仲良くしていきたいと思っています。

それから、いつも心のすみ、「字をきれいに書く事」「みんなと同じペースで何で

自分に活を入れて

原田時子 (富田)

今日まで私は、努力も挫折も決断も、ほとんど経験せずに歩いて来ました。

中学でのクラブ活動は、出来ること、出来ないことを割り切って諦めてしまい、青春ドラマのように、苦しくても投げ出したくても練習を続け、そして何かを得る、などという事は全くありませんでした。高校受験に際しても、姉が入ったという理由で学校を決め、受験勉強をしたという記憶もほんの少しだけ。高校生になると、将来について真剣に考えて進むようになるのに、私は勧められたとおり、秋田銀行五城目支店に決め、現在に至っています。

スムーズに簡単な調子で歩いて来ましたので、就職してガーンとショックを受けてしまいました。何をやっても遅いし、何を教わっても理解に苦しむ。本人の成績が悪くて、誰も迷惑しませんが、仕

もやっていく事」を思っているのですが、なかなか実行する事が出来ませんでした。今年からはこれを目標に、先にジャンプしていった友達と足なみをそろえられるようにがんばりたいと思います。

(残り少ない小学校生活もふくめて……)

事が出来なくては、自分ひとりの問題では済まされません。ましてお給料を貰っているのですから。

ベテランの中にいる自分が見じめで情けなく、こんなにもダメな人間だったのかと悩み、お手洗で泣いたこともしばしばでした。食欲もなく、

体重も、今は二度と見る事ができない数値を差していました。友人に相談すると、「ここで挫折してしまうの。ウツとがんばるんだ。」と励ましてくれましたが、ウツとがんばった経験が少なく、この時はとても難しかったのです。

あれからもう五年。先輩が次々に退職し、いつの間にか古株になりました。振り返ると、未熟さだけが覚えて来ます。年齢的には、もうりっぱな大人のはずですが、まだまだ戸惑ってばかりです。

辰年の今年、今まで私の中で眠っていた龍に活を入れ、歩む道を、鋭く見つめていきたいと思っています。そしていつか、結婚という大きな節目を向かえた時に、しっかりと決断できる女性でありたいと思います。



“いらっしやいませ……” 秋田銀行に勤務する原田さん

農家を継いで

齊藤 正志（町村）

昭和六十三年の辰年、この年は、私にとって三回目の年男に当たります。

私が高校卒業後、農家である家の後を継いで、早くも十七年が過ぎ去りました。母に教わり自分で考え、限られた農地から、少しでも多くの収穫を上げようと努力しました。

だから、その年の収量が、前

の年より多い時は満足して来年はもっと頑張ろうと意欲を燃やし、少ない年には、次の年に期待してますます意欲を燃やしたものでした。

それに、米価が毎年大幅に引き上げられ、作った米がいくらでも売れる時代でしたから、何の不安もなく農業の

の時代にはいった時期でもあります。我が家にも世間並みに機械がいり、作業が早く楽にできるようになり、そんな機械を使つての農業も一つの魅力となりました。

こうした希望を持ってできた農業も、今は、もう昔のことになってしまいました。その後、年々厳しくなる一方の農政や農業情勢の続く中で、意欲は薄れる一方なのです。

自分の土地で、自分の思うように物を作られない。これは農家にとって一番つらいことです。今、この農業事情からして、これもしかたのない事だ

とあきらめるよりないのです。農業も転換期を迎えた今、明るく意欲を持てるような条件は何一つありませんが、農業を捨てる気持はありませんし、昔のような意欲は無くしたものの、まだまだ農業は続けた

と思っています。

「辰年」を迎えた今、この年を人生の一つの折り返しの年として、厳しい現実を見つめながらも、作物をつくる喜びを失わず、またいつの日か昔のような、熱意を持ってできる時が来る事を願って、自分の農業を続けたいと思

います。

す。

学ぶことのよろこび

安部 明子（希望ヶ丘）

あけましておめでとうござ

います。

一年の計は元旦にあり、と云う諺があります。

ゆく年を反省し、くる年に希望を持って、新しい年を迎えることが出来ました。

私は、今年が四回目の当り年、人生の半ばを過ぎたこの時期に、日頃の生活を見なおし、健康にも気を付けなければならぬ年代でもあります。

長男も、辰年生まれで二回

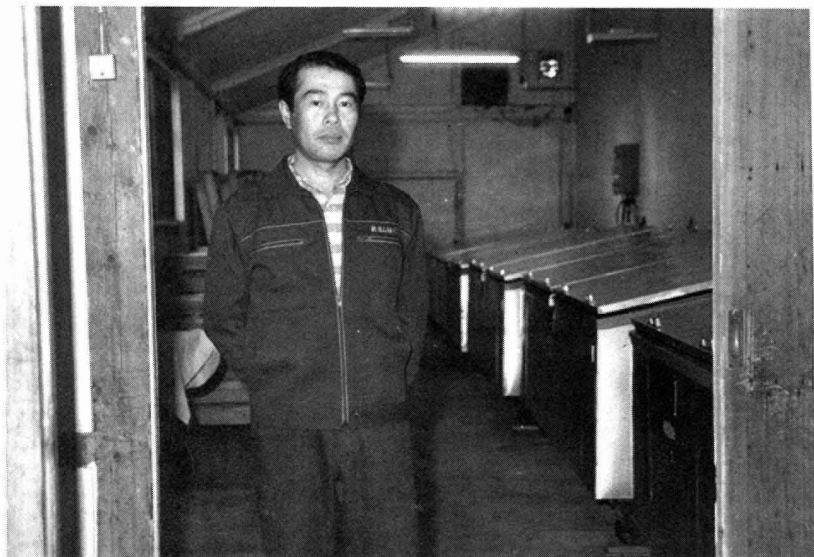
目の年男です。二男は成人を迎えたばかりで、いろんな面でも社会参加の出来る一

年生となりました。

頃、好きで始めた洋裁も、今では職業として頑張っておりです。一時は手の使い過ぎとあって、職業病になり、ふきんを絞ることも出来ない程の苦痛を感じ、仕事を続けて行くことさえ心配になった時もありました。

それを機に、手を休める意味でも、いろいろな趣味を持ち、また婦人会活動にも加わり、無知な自分を励ましなが

ら学ぶことによって、仕事への生き甲斐を感じ、毎日を忙がしく過ごしているこの頃です。



農業に意欲を燃やす斎藤さん



“学ぶことのよろこび”を語る安部さん

今年 は 私 た ち の 年 で す



酒屋さんを経営する栗山さん

「辰年」は「伸」で

栗山 順吉（仲町）

昨年四月二十五日、私達は歳祝の同級会を行いました。昭和九年四月一日に五城目小学校へ入学した同級生の集いです。七つあがりの私はまだ還暦ではなかったのですが、同級生の人々と一緒に産土の神様である神明社でお抜いをするために集まりました。そこへ集まってきた、時々は町で会っている顔、何十年ぶりで遠くからかけつけた

数十年前ぶりでその日の朝市を見た同級生の一人は、素朴な昔の姿のまま今も続いている朝市をたいへん懐しがっていました。最近では町の積極的な宣伝も行き届いて、四季たくさんの町内外からの人の姿が見られます。物もサービスも過剰といわれる時代ですが、素朴なものへのふれあいを求めようとする反面をみる感じます。地場産業等も必ずしも好調と言えないきびしい最近ですので、大きな投資がなくとも集客力のある朝市は町の活性化には大きな役割を演じていると思いますので、朝市との共存共栄を引き続き、私達下町商店会の新しい年度の目標にしたいものです。ことしの十二支、私達の辰年の「辰」は「伸」に通じて万物が生きて伸びることを意味するとか、これは明るい良い年をと祈る庶民の願望が込められていると思うのですが、私自身こしはらくの日のきびしい環境に萎縮している感じがしますが、こしは一番、心の過疎からまず脱却すべく、こしこそは「伸」でいきたいものと願っています。この町に生まれ育ち、たくさんの方々の方々との暖かいふれあいの中で、生業のことに感謝しつつ、すこやかな人生の後半を送りたいものです。

文芸コーナー

短歌

「亡夫との日々」 工藤 誠子

二十三年の看護甲斐なく未だ生きて
はや十三回忌の秋も近づくと
若き日々耐えし苦労がなつかしく
思えるほどに永きすぎさり
捨てがたき一着なりてしまし置く
亡夫の洋服出しては偲ぶ
母われに陽当り良き部屋建てくれし
子がありがたく雨夜しみじみ
建て増しの部屋小さくもあわせは
亡夫と二人の日々にもかよう

俳句

「流 燈」 伊藤 芳穂

畦刈るや農夫と老いしこと悔いず
独り聞く虫や旅愁のごときもの
ちちははを越しながらへて魂祭る
余生とはいえど役あり水落す
岸はなれ流燈迷いなりけり

川柳

「丸木橋」 一関 北柳

欲望の仮面は高い樹に吊るす
美しい嘘にあっさり試される
忘れたと言う方便で場をしのぐ
出る杭になって男の張りがある
分別が足すくませた丸木橋

— お待たせしない、13分仕上げ —

最新システム 洗車会員募集

温水使用で真冬もOK!
●上記洗車・ワックス掛の他、当店では
「車内清掃」も含んでこのお値段です。
何度洗車WAXしても!
1ヶ月会員 6ヶ月会員 15,000円
3,000円 1年会員 27,000円
フリーでグローワックスのみの場合1,200円

④イオンと③イオンを使った 念入りのワックス仕上げ ①洗車 ②グローワックス ③シールドワックス ④乾燥

きれいで好きの
面倒くさがり屋さん、
集まって下さい。
冬こそ愛車の手入れを!

泡状ワックスで 超スピード仕上げの
グローワックス
あなたのコミュニティープラザ
湖東商事 有限会社
昭和シェル石油五城目給油所
五城目町大川下樋口字屋敷下62 ☎75-3550・4317

毎月第1・第3日曜は全町除雪デー

皆んなで除雪を

町では、除雪作業をより効果的にするため、毎月第一、第三日曜日を「全町除雪デー」に定め、町内の皆さんのご協力をお願いすることにしました。期間は一月から三月まで。

町内側の馬場目川

路上駐車は

やめましょう

町道の除雪は、国道、県道に通ずる路線やバス路線、通学路など主要な幹線道路から随時行い、できるだけ早く各地区の道路に除雪車が入れるような態勢をとっています。迅速、効果的な除雪ができるように、次のことにご協力をお願いいたします。

町道の除雪は、国道、県道に通ずる路線やバス路線、通学路など主要な幹線道路から随時行い、できるだけ早く各地区の道路に除雪車が入れるような態勢をとっています。迅速、効果的な除雪ができるように、次のことにご協力をお願いいたします。

特に路上駐車は、除雪の邪魔になるだけでなく、除雪できない場合もあります。路上駐車は絶対しないでください。また、幅四メートル以下の狭い路地などは、除雪車が入れませんので、町内の皆さんで除排雪を行うようお願いいたします。

作業時間、作業手順などは各町内会で決めてください。また、排雪のための機械、トラックなども各町内会で用意するようお願いいたします。

交通確保のため、10業者に除雪作業を委託

町や県では、冬期間の交通を確保するため除雪態勢に入っています。

町が除雪する道路は三百四十一路線で、その総延長距離は約百二キロ。ブルドーザーやグレーダなど十一台の除雪車が、早朝三時から出動できるようにになっています。

また、除雪車で回りきれない路線については、町内の建設業者などに除雪作業を委託しています。

▽伊藤組 加藤政光

電話52-4638

営林署通線、細越線、神明前線、羽黒前線、田町旧道線、上田町線、浦横町線、浦横町幹線、小立花線、白水沢線、岡本家ノ下線、同小池線、同南線、同ニラ山線、同川崎線、同矢場崎線、野田小池線、同開線、同清浦線、下山内線、同上ノ山線、同神社線、内川小

支線、同中央線、同深堀線、同組田線、同川向線、下山根線、黒土線

▽赤坂建設 赤坂賢治

電話75-2749

大川上瀧端線、同稗田尻線、同湖東線、同今戸線、同下川原線、同新住宅線、同新住宅支線、同今戸支線、同墓地線、同西住宅小路線、同西屋敷線、同東屋敷線、同下タ川原線、同寺小路線、同二区駐車場線、同小学校通線、同関合線、大樋線、下樋口上線、曙一丁目線、同二丁目線、同三丁目線、同四丁目線、石崎沼田線、同裏通線、樋口下樋口線、四ツ屋中谷地線、谷地中四軒町線、同樋ノ下線、同嵐町線、同三軒町線、原島線、西野海老沢線、同中線、同上線、同四ツ屋川端線、同田中線、同八幡前線、同下村部落線、同下村線、同矢場崎線

▽沢忠林業 沢田石忠作

電話54-2532

金ヶ沢線、同消防下線、同消防上線、湯ノ又日ノ沢線、同川向中央線、同川向環状線、同川向環状支線、同後田線、同上川原線、同後田支線、同羽立線、同羽立支線、同林道線、小川口線、同中線、浅見

内谷地田線、同高樋線、同谷地田中線、同五輪塔線、同堂ノ下線、同川端線、同後田線、同下ノ山線、同札ノ前下線、同家ノ沢線、同札ノ前線、同上ノ山線、同神社線、内川小

学校入口

▽島山石油 島山光芳

電話52-3022

東磯ノ目北二丁目線、同北二丁目線、同東線、栄小路線、七倉種沢線、仲町小路線、電話局前通線、同裏小路東線、同裏小路中線、同裏小路西線、入船通線、線香座線、石田小路線、川寺小路線、商工会館前通線、雀館北線、同下川原線、同東線、館町下線、同上線、中泉田住宅線、田中線、高崎上樋口線、同里下線、同里下東線、同下村住宅線、同下村支線、同下村旧県道線、同下村線、同小沼線、同下川原線、同槐線、中高崎線、宮花線、矢場崎岡本線、同南線、同東線、森山登山道線、岡本線、磯ノ目河川道路

▽伊藤産業 伊藤幸三郎

電話54-2206

上山内荒町線、同大宮線、上広ヶ野線、和田線、大手線、富田線、同下川原線、同寺沢線、同上小路線、同雷線、同杉野線、八田下線、同上線、長面線、御蔵下下線、同上線、台線、脇村線、台御蔵下線

▽高千建設 小玉誠一

電話54-2762

高田線、千日線、同支線、落合旧県道下線、同川端線、同旧県道上線、同消防線、北村線

▽佐々木建設 佐々木茂夫

電話53-2449

保呂瀬線、恋地線、同下丁線、同中丁線、同中支線、同神社線、同上丁線、坊井地線、杉沢中通線、同貯木場線、同下段消防線、同下通線、同中央通線、同上台通線、同旧軌道線

▽佐々木製材所 佐々木照雄

電話53-2126

小野台線、同中線、寺庭中村線、同上村線、中村田山線、同田山支線、大吹沢線、同支線、中屋敷線、水沢線

▽佐々木工業 佐々木喜久也

電話53-2225

寺庭悪線、同中線、同柳沢線、中村後村線、同巡査小路線、同田山線、同権兵衛支線

▽金野組 金野栄

電話53-2850

松樹院前線、水沢黒山線



1月10日は『110番の日』

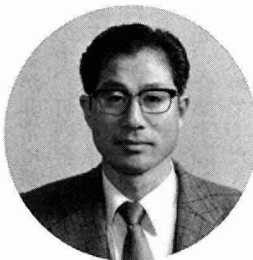
- いつ →どこで
- どんな事件・事故が
- 犯人は、どちらに逃げたか
- どこから110番しているか

落ち着いて

ふれあい広場

あらほの
自慢っこ

上山内町内会
小林 武



私達の住む上山内は、中央に国道二八五号線が通っている五十数戸の農家主体の町内であります。全町内の戸数の規模からみると、決して大きい方ではないが、町内対抗の体育祭においては町内のまとまりと連帯がよく、いつも成績抜群、優勝回数と上位入賞ばかりであります。これは伝統ある連帯意識と「むつみ会」という若妻会の力が大きく貢献しております。毎年八月には伝統の町内盆踊大会や全町大会での成績をみて、その活躍振りがうかがえるというもの。

さて、町内の念願であった「公民館」が昨年八月移転改築され、集会所や語らいの場として毎日の如く利用されております。これは納税組合の助成金を蓄え、各戸から三年間にわたって拠出積立てるなど、他からの援助もあまりなく自前で建築したものです。又、設計から建築まですべて地元の人でまかなったことも、日頃の団結の結果だと自負しております。

念に植えた桜も立派に育ち毎年満開の花の下で、若者らが宴を開く姿もみられます。毎年八月十四日の早朝には、町内会総出で下刈作業をしており、春は桜、冬は子供のスキー場として町内会の憩の場となっております。近くの山内城址のふところに抱かれたその地には、温泉宿があり、城址への登り口として今後、観光にも期待されつつあります。又この程、菅江真澄の記念碑が町内の円通寺境内に建立されるなど、歴史と伝統的な町内会であります。

グループ訪問

菊の会

(代表 猿田 理紀雄さん)

この会は、昭和三十八年三月、菊づくりの愛好者十八人が集まり発足しました。

皆さんは、戦後の二十一年頃からそれぞれ菊づくりを始め、三十七年暮れに「同好の志が集まり、グループをつくろう」と話し合い結成に至ったものです。

現在では、会員が二十八人に増え、菊づくりを楽しんでいます。

昨年は二十五周年を迎え、盛大に式典が行われました。年間の活動は、毎月一回の定例会を行い、三月、四月は新種を取り入れての学習会。八月、十月は会員同志の自宅を回り、お互いに批評し合っています。また、十一月の産業文化祭には毎年出品しており、町づくりの一端を担っています。

会員全員が同じ種類のものを作り寄せ、同じ条件で育てる「競技花」は七年目を迎え、互いに技術を競い合い、研さんを積んでいます。



クリーンセンター

試運転

町民の皆さんが長年にわたって建設を希望していた、し尿処理施設（クリーンセンター）が完成し、今月から試運転を行います。

このし尿処理施設は、近代的設備でし尿を衛生的に完全処理できます。一月から三月までは試運転ですが、四月からは本格的に操業を開始し、町内で収集されるし尿の全量を処理します。

なお、施設の処理工程を支援なく機能させるため、次のことを必ず守ってください。

▽用便の際は水にとけやすい紙を使用する

▽便槽に異物（新聞紙、吸がら、紙おむつ、衛生綿、生理用品、布、ビニールのかたまりなど）投げ入れない
・施設の配管やポンプなどが詰ったり、機械が故障したり、破損したりすることがあります。

・紙おむつなどの燃えるものは、燃えるごみとして出してください。

▽便槽に薬品（塩酸、クレゾール、殺虫剤、中性洗剤など）を投入しない

・し尿や浄化槽汚水を分解してくれる微生物を殺してしまいます。

・便器の掃除はなるべく早めにぬるま湯か薄い石けん液でふきとってください。

あけまして
おめでとうございます

今年もよろしくお願い申し上げます



まごころかよう
五城目信用金庫

本店 ☎52-2115代・八郎湯支店 ☎75-2544代・若美支店 ☎0185-46-2315代・飯島支店 ☎45-8024代



あけまして
おめでとう
ございます

信頼の炎を燃やして...

信越ガス 都市ガス 燃料

カメラレポート



ヨイショ、ヨイショ

五城目幼稚園でモチツキ

五城目幼稚園で、12月17日、モチツキ会が行われました。当日は、モチ米14キロ、臼と杵2組を用意。園児たちは遊戯室に集まり、教育長や公民館職員と一緒にモチツキを楽しみました。応援にかけつけた田町の館岡喜三郎さんがあいどりをを行い、杵を振るう教育長や公民館職員に園児たちは「ヨイショ、ヨイショ」の大声援を送っていました。途中、園児たちは、代わる代わる杵を持たせてもらいモチツキに挑戦し、初めて行うモチツキに大はしゃぎ。

モチツキが終わると、PTAのお母さんたちが、モチにきな粉やあんをまぶし、全員でつくたてのモチを食べました。



五城目幼稚園で行われたモチツキ会

代表7人が体験発表

高齢者合同大学祭

第2回交齢者合同大学祭は、12月16日、町民センターを会場に約140人が参加して開かれました。

これは、高齢者の活力を養おうと昨年から開かれたもので、町の生涯教育の一環である率浦大学、同大学院、自主住民大学、自主高齢大学院、自主実年大学の生徒が参加しました。

式では、全員で町民歌を斉唱した後、大学祭実行委員長の八柳正二さんがあいさつ、来賓が祝辞をのべました。

また、式終了後、秋田大学の茂泉陽子助教授が「高齢化社会に向けてすこやかに生きよう」と題して記念講演を行い、続いて、各大学、大学院の代表7人が戦争当時の苦しかったことや日常生活などを体験発表。最後に芸能発表が行われ、自慢ののどや踊りを披露していました。



町民センターで行われた交齢者合同大学祭

サンタのプレゼントに大喜び

雀館児童館でクリスマスパーティー

雀館児童館主催のクリスマスパーティーが、12月12日、午前10時から雀館児童館で約80人の子どもが参加して行われました。

これは、親子のふれあいを深めるとともに、子どもたちの輪を広めようといわれたもの。パーティー会場はきれいに飾られ、ツリーも備え付けられました。

初めに、五城目郵便局長の金子松之助さんがサンタコースにふんし、子どもたちに郵便局と主催者からのプレゼントを手渡しました。子どもたちは思わぬ贈り物に大喜び。

また、ビデオでマンガを2本見た後、雀館児童館運営委員が準備したダマコモチを皆んなでごちそうになり、楽しい一日を過ごしました。



サンタさんから子どもたち全員にプレゼントが手渡されました



町内対抗総合体育大会 前期は八田が一位

町内対抗総合体育大会は、二カ年にわたって競技を行い、その総合成績で順位を決めることになっています。今年度最後の競技種目である綱引き大会が十二月七日から十日まで行われ、今年度分前期の総合順位がまとまりました。

▽前期総合成績

- | | |
|--------------------|------------|
| ①八田 69 | ②岩野 64 |
| ③浅見内 51 | ④畑町 49 |
| ⑤田町 40 | ⑥中村 36 |
| ⑦黒土 35 | ⑧上山内 33 |
| ⑨古川町 32 | ⑩西野 30 |
| ⑪館越、高千 29 | |
| ⑫矢場崎、湯ノ又 28 | |
| ⑬中川原 27 | |
| ⑭富田、上高崎 26 | |
| ⑮下山内 25 | ⑯米沢町 24 |
| ⑰下樋口 23 | ⑱野田 21 |
| ⑲落合 19 | |
| ⑳水沢、北々口、小倉 18 | |
| ㉑脇乙、帝釈寺、谷地中、広ケ野 17 | |
| ㉒恋地 16 | ㉓新畑町、町村 15 |
| ㉔樋口、紀久栄町 14 | |
| ㉕希望ヶ丘、上田町、久保 12 | |
| ㉖小野台 11 | |
| ㉗蓬内台、築地町 9 | |
| ㉘杉沢 8 | |

- ⑫今町、一番町、長町、中高
崎、岡本二区、浦横町 6
⑬新里町、新町、館町、大川
三区、曙町、岡本一区 3

- ②工藤(同) ③朝野(同)、清水(同)
▽六年女子単①一関(五小)
②館岡(同) ③近野(同)、今(同)

▽前期種目別成績

△家庭バレーボール

- ①浅見内 ②八田
③恋地 ④上山内

△水泳

- ①古川町 ②八田
③黒土 ④畑町

△ゲートボール

- ①下樋口 ②岩野
③田町 ④湯ノ又

△卓球

- ①岩野 ②中川原
③矢場崎 ④高千

△綱引き

- ①館越 ②八田
③中村 ④岩野

第30回全町卓球大会 12月13日 広域体育館

第三十回全町卓球大会は、十二月十三日、広域体育館で行われました。結果は次のとおりです。(敬称略)

△小学校の部

- ▽男子団体①五城目小A②五城目小B③杉沢小C、杉沢小A

- ▽女子団体①五城目小A②杉沢小③五城目小B、五城目小C

- ▽五年以下男子単①佐々木勝(杉小)②金沢(同)

- ③金沢(同)、宮田(五小)

- ▽五年以下女子単①栗山(五小)②京野(同)③小玉(同)、工藤(同)

- ▽六年男子単①猿田(五小)

- ②工藤(同) ③朝野(同)、清水(同)

- ▽六年女子単①一関(五小)

- ②館岡(同) ③近野(同)、今(同)

- △中学校の部

- ▽男子団体①五一中A②五一中B③杉沢中、五一中D

- ▽女子団体①五一中A②五一中C③杉沢中、五一中B

- ▽一年男子単①猿田(五一中)②伊藤(同)③工藤(同)

△一般の部

- ▽職場対抗①五城目町役場

- ②五城目商工会③下町商店

- ▽男子単①千田(五城目町役場)②三戸(八郎瀧町役場)

- ③遊佐(秋田大)、真壁(五洋電子)

- ▽女子単①近野(雀館)②猿田(猿田うどん)③工藤(畑町)

- ▽男子複①三戸・一関(八役、五松堂)②渡辺・千田(五松堂、五役)③今村・伊藤(今彦・五役)、遊佐・遠藤(秋大、マッダ)

- ▽三十歳代単①三戸(八役、二一関(五松堂)③今村(今彦)、伊藤(五役)

- ▽四十歳代単①猿田(猿田)

- ②渡辺(渡辺時計店)

- ③小玉(中央観光社)

- ▽五十歳代単①猿田(秋田市)②福島(福島電気)

- ▽家庭婦人①近野(雀館)②猿田(猿田うどん)③工藤(畑町)

- ▽参加料 三千円

- ▽申し込み方法 往復ハガキに、希望種目、住所(フリガナ)、郵便番号、氏名(フリガナ)、年齢、性別、電話番号、現地までの希望交通機関(①自家用車、②JR、③その他)、所属を明記

- ▽申し込み期限 一月九日

- ▽申し込み・問い合わせ先 760 高松市丸の内2-25 香川県瀬戸大橋開放行事実行委員会事務局マラソン係(☎0878-23-1151)



坂谷 晃氏



阿部 三郎氏

表彰

阿部館長と坂谷さんが表彰

全国公民館振興大会

全国公民館振興大会が、昨年の十一月、東京都で行われ、席上、本町中央公民館の阿部三郎館長が全国公民館優良職員表彰を、また坂谷晃係長が永年勤続表彰を受賞されました。阿部さんは、これまで通算二十二年間公民館職員として公民館の運営に尽力され、その業績が顕著であるとして表彰されたものです。昨年八月には県公民館連合会会長賞、同十月には県花いっぱい運動の会長賞を受賞されています。坂谷さんは、十七年間公民館職員として積極的に活躍されており、その功績が認められたものです。

商店) ②渡辺(渡辺時計店)
③小玉(中央観光社)
▽五十歳代単①猿田(秋田市)②福島(福島電気)
▽家庭婦人①近野(雀館)②猿田(猿田うどん)③工藤(畑町)

瀬戸大橋健康マラソン に参加してみませんか

▽参加料 三千円
▽申し込み方法 往復ハガキに、希望種目、住所(フリガナ)、郵便番号、氏名(フリガナ)、年齢、性別、電話番号、現地までの希望交通機関(①自家用車、②JR、③その他)、所属を明記
▽申し込み期限 一月九日
▽申し込み・問い合わせ先 760 高松市丸の内2-25 香川県瀬戸大橋開放行事実行委員会事務局マラソン係(☎0878-23-1151)

あけまして
おめでとう
ございます



今年もよろしくお引立くださいますようお願い申し上げます

お菓子の **しば友**
五城目町古川町 ☎ 52-3238

本年もご指導と
ご鞭撻を賜りますよう
よろしくお願い申し上げます



Liquor & Foods
CVS あらかわ
酒と食品 荒川商店
荒川達雄
秋田県南秋田郡五城目町字七倉85-3(畑町)
☎018-17 ☎(0188)52-3903



迎春
五城目印刷所

☎ 52-3531 (代)

お知らせコーナー

新春将棋大会を開催

森山地区公民館

森山地区公民館では、森山地区新春将棋大会を開催します。大会には、だれでも参加できます。

▽日時 一月三日(日) 午前

十時

▽場所 森山地区公民館(岡

本一区)

▽会費 一人千円

冬休みふれあい広場

大川農村環境改善センターで開催

大川農村環境改善センターでは、冬休み期間中の子どもたちのために「冬休み子どもふれあい広場」を行います。参加を希望する児童・生徒は、一月七日までに申し込んでください。

▽期間 一月十二日(火)

一月十四日(木)

▽時間 午前十時～午後三時

▽場所 大川農村環境改善センター

▽対象 町内の児童・生徒

▽内容

・十二日IIゲーム遊びコーナ

・イラストコーナー

・十三日IIおはなしキャラバ

ンコーナー(人形げき、紙

しばい、昔ばなし)、図書と

イラストコーナー

・十四日IIお茶のコーナー、おにぎり実習コーナー、図書とイラストコーナー

▽申し込み・問い合わせ先

大川農村環境改善センター

☎75-5067

NTTふれあい広場を開催

15日広域体育館で

NTT五城目電報電話局では、NTTふれあい広場を次のとおり無料で開催します。

▽日時 一月十五日(金) 午

前十時～午後三時

▽場所 広域体育館

▽内容

・綱引きゲームII一チーム五

人、チーム編成は自由

・各種ゲーム

▽申し込み締め切り日

一月八日(金)

▽申し込み・問い合わせ先

NTT五城目電報電話局

☎52-3000

被爆二世の無料健康診断

1月18日から30日まで

原爆被爆者二世の健康診断

を無料で行います。

▽実施医療機関

秋田赤十字病院、中通リハ

ビリテーション病院など

▽対象者

両親のどちらかが被爆者で

ある方

▽実施期間

一月十八日～三十日

▽問い合わせ先

各医療機関または、秋田保健所五城目支所(☎52-3145)へ



善意銀行
託者
(敬称略)

・十二月十四日

一万円 矢場崎 藤田フサ

(亡義母スエ様の香典返し

として)

・十二月十七日

三万円 久保 一関ナミエ

(亡夫金四郎様の香典返し

として)

・十二月十七日

三万円 町村 斎藤三明

(亡父藤治郎様の香典返し

として)

・十二月十七日

千円 館越 本間温子

(報労金を寄付したもの)

・十二月十九日

三万円 畑町 沢田石礼子

(亡夫正市様の香典返しとして)

・十二月二十一日

三万円 大川一区 浅野光之

(亡父慶一郎様の香典返し

として)

・十一月二十九日

清掃奉仕、ぞつきん二十六枚

五城目町連合青年会

小玉静夫ほか十一名

・十二月十六日

劇

五城目小学校四年生有志

・十二月二十一日

理容奉仕 今町 小杉田啓一

・十二月二十二日

マイルドセブン七十五個



森山荘に
寄せられた善意
(敬称略)



善意
(敬称略)

▽社会福祉協議会に寄贈

・十二月十四日

紙おむつ 三十枚

矢場崎 藤田フサ

迷い子の犬

心当りの方は連絡を

▽特徴

柴系雑種・茶色の首輪

色 白と茶 性別メス

体長六十センチ

▽発見場所 富津内入通沢

▽発見した日時

昨年十二月月上旬

▽連絡先 ☎52-3370

猿田長さんへ

あなたの店も灯籠設置

に参加協力しませんか

中央線シンボルロード沿道

整備推進部会(佐藤成孝部会長)では、昨年十一月に町の

新しいシンボルとして生まれ

変わった馬城橋完成にともな

い、中央線沿道の統一した飾

りつけとして灯籠の設置を計

画しています。

業の活性化につながると考

えています。

あなたの店も、灯籠設置に

参加協力してみませんか。

▽灯籠基当り 一口二万円

▽製作個数 百五十～二百個

▽設置場所 役場前交差点、

雀館線との交差点までの両

側歩道

合わせて設置する

▽灯籠の保管・管理 推進

部会が責任をもって保管

・管理する

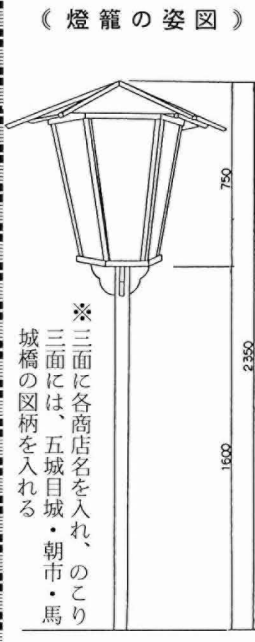
▽申し込み締め切り

一月二十日(水)まで

▽申し込み・問い合わせ先

役場都市整備課

☎52-2100



テレホン広報ごじょうめ
☎52-4141

	月	火	水	木	金	土	日
28～1/3	今週のお知らせ	五城目の年の瀬除夜の鐘			新年のあいさつ五城目町長		
4～10	今週のお知らせ	今後のテレホン広報のご案内			みんなの広場(ぼく、わたし五城目幼稚園すみれ組)		
11～17	今週のお知らせ	白銀の世界ノ恋地スキー場			みんなの広場(ぼく、わたし五城目幼稚園たんぽぽ組)		

テレホン広報
ごじょうめ
のご案内

忠 総 桐 タ ソ ス
秋 田 杉 和 家 具
収 納 家 具 製 作

伊藤忠次木工所

秋田県五城目町高崎字田中
☎(0188)52-3708

野草のたのしみ

19

ヤマユリ

松浦修作
(小池町)

世界に野生ユリの仲間
間は、おおよそ百種
あり、日本には十五
種自生している。この

中でもヤマユリは我国の特産種で、古い時代より日本民族に親しまれてきた花である。このユリが最初に文献に出てくるのは「古事記」の中に、「其の河の辺りに山由理草多に在りき」の一節がある。初夏の太陽をいっぱい受けて豪華に咲きほこるヤマユリは、数ある山野草の中でも、これほど立派な花は外にはみ

られない。草丈一・五メートル以上、鹿の子斑のある花は、花径十センチにもおよび、むせかえるような芳香を放ち、山草の王者の風格をただよわせている。

このように自己を最大限に主張しているヤマユリの花は、初夏の詩情をよくあらわして私達郷土の人々に、かぎりない希望を与えてくれる。「町の花」にふさわしい花である。二十五年位前のことである。馬場目水沢地区の道路のすぐ上の山を伐採してから三、四年ぐらい経過した頃だろうか、ヤマユリの成育に理想的な条件のところに、大群生しているところがあった。七月の花時には、全山白一色におおわれて、その壮観は今でもまぶたに浮かぶ。林木が生長するにしたがって環境が変化し、この花も自然に姿を消す運命をたどった。

ヤマユリは排水のよい山地の林縁、疎林、灌木の間などに好んで成育しているが、大柄な山草であるため鉢植えでは調和がとれないので、露地栽培が適している。和風の庭では、庭の隅に二、三本植え、野趣と芳香を楽しみ、洋風庭園ならば群殖して豪華さを楽しみたい花である。



写真提供 渡辺憲彦氏

おたんじょう
おめでとうございます



宮田 剛ちゃん
(62.11.1 生)
孝次・静江さん二男／岡本一区

おおかあさんの一言

健康で素直な子になってほしい。
それから、早く大きくなって、お兄ちゃん
遊び相手になってほしい

おめでとう

申し上げます

(敬称略)

沢田石正市	47歳	11月11日	下内
浅野慶一郎	66歳	11月11日	浅見内
一関金四郎	65歳	11月10日	岡本一区
金子幸之助	63歳	11月9日	中村
小松松之助	75歳	11月3日	岡本一区
原田ハル	94歳	11月3日	浦横町
渡辺 輝	72歳	11月2日	岡本二区
千田フクエ	65歳	11月13日	畑町
佐藤謙之助	70歳	11月13日	岡本一区
小野フクエ	93歳	11月15日	岡本二区
工藤ナヲエ	75歳	11月19日	浦横町
児玉マツエ	86歳	11月23日	岡本一区
村田金吉	72歳	11月23日	中村
工藤武一	74歳	11月24日	岡本一区
畠山勇治郎	62歳	11月28日	浅見内

町の人口と世帯

12月1日現在

人口	15,180	人 (-4)
(男)	7,223	人 (-1)
(女)	7,957	人 (-3)
世帯	3,940	世帯 (2)

※ () 内は前月との比較



宮田 剛	二男	11月1日
孝次・静江	岡本一区	
斎藤 元	長男	11月5日
昭悦・由美子	田町	
西井友栄	二男	11月19日
茂・早苗	雀館	
斎藤友恵	長女	11月26日
喜久也・良子	館越	

(敬称略)